

長野県商圈調査報告書

令和3年度

長野県産業労働部

はじめに

新たな産業集積の形成や大型店の出店、インターネットを利用したネットショッピングの普及や新型コロナウイルス感染症の長期化等により、消費者の買物行動は多様化を続けています。

こうした状況のなか、事業者の販売・出店戦略や市町村の商業振興施策等の検討の際には、消費者の買物動向の現状を的確に把握することが必要不可欠です。

「長野県商圈調査」は昭和45年度から調査を開始し、市町村の商業機能が及ぼす影響の範囲や消費者の買物行動を、広域的、時系列的に取りまとめています。関係機関の皆様に、参考資料として広くお役立ていただければ幸いです。

終わりに、アンケートにご回答いただきました皆様方並びに本調査の実施にあたりご協力いただきました中学校、市町村、市町村教育委員会、県教育委員会の関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和4年9月

長野県産業労働部長

林 宏行

目 次

I	調査実施概要	5
II	調査資料の利用にあたって	11
III	調査結果の要約	17
IV	調査結果	31
1	長野県の商圈動向	33
(1)	商 圏	33
(2)	地元滞留率	40
(3)	吸引人口	43
(4)	吸引力係数	43
2	地域別商圈動向	47
(1)	北信地区	47
(2)	東信地区	61
(3)	中信地区	78
(4)	南信地区	102
3	県内消費者の県外への流出	124
4	無店舗販売の利用	126
5	業態別利用店舗	132
6	インターネットを利用した買物状況	142
V	資料	147
資料1	市町村別の吸引人口と吸引力係数	
資料2	市町村の商圈人口・地元滞留率・吸引力係数（降順）	
資料3	市町村別地元滞留率の推移	
資料4	市町村別県外への流出・無店舗販売の利用状況	
資料5	市町村別商圈動向	
資料6	市町村別買物状況	
資料7	インターネットを利用した買物状況	
資料8	業態別利用店舗の現況	
資料9	お買物調査票	

I 調査実施概要

I 調査実施概要

1 調査の目的

消費者の買物行動は、新たな商業集積の形成、大型店の出店並びに消費者ニーズの多様化、生活価値観の変化等の影響を受け、これまでの商圈構造を大きく変えている。こうした現状をふまえ、県下一斉に消費者の買物行動を調査し、広域的商圈の動向を把握することにより、中小小売業の振興施策の基礎資料とする。

2 調査機関（1）調査実施機関

協同組合長野 CI 開発センター

（2）調査協力機関

県内公立中学校 市町村教育委員会 長野県教育委員会

3 調査対象

県内公立中学校 188 校の 2 年生の家庭（1 校につき 1～3 学級）

4 調査サンプル数

8,649 世帯

5 調査票回収状況（1）世帯抽出率

{「サンプル数」÷「令和3年4月1日現在の長野県内全世帯数」
（長野県毎月人口異動調査結果（県情報政策課）による）} ×100
= (8,649 ÷ 833,403) ×100 ≒ 1.00%

（2）調査票回収枚数

6,180

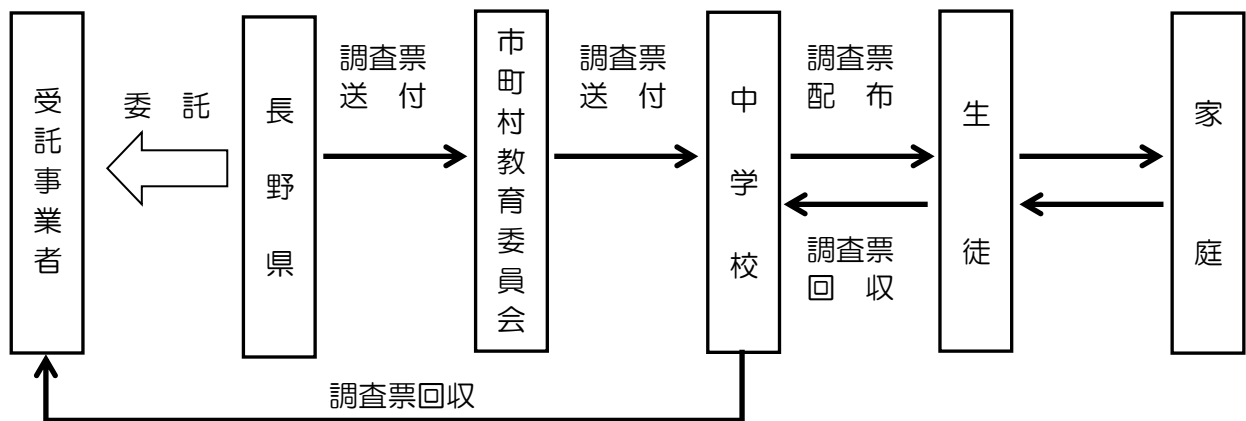
（3）回収率

71.5%

（4）その他

市町村については前回調査等との比較のため、合併前の旧市町村単位（平成15年8月31日現在）119 調査で調査を行っている。

6 調査票配布及び回収経路



7 調査内容

「お買物調査票」のとおり（P429～430 参照）

8 調査期間

令和3年10月25日（月）から令和3年12月6日（月）まで

9 調査票について

本調査を実施するにあたって、県下を8地区に分け、それぞれ8種類の調査票を使用した。（図1）

各調査票中の「買物する場所（市町村等）」の選択肢に記載した当該地区以外の市町村は次表のとおり。（表1）

なお、市町村については前回調査等との比較のため、合併前の旧市町村単位119市町村（平成15年8月31日現在）で調査を行った。以下、現在の市町村名を（ ）内に記載し、合併後も市町村名が変わらなかったものは（ ）内に「合併前」と記す。

表1 「買物する場所」の選択肢に記載した当該地区以外の市町村等

調査地区名	当該地区以外の市町村名等
佐久・小諸	上田市（合併前）、旧東部町（東御市）、長野市（合併前）、茅野市、諏訪市、松本市（合併前）
上田	長野市（合併前）、松本市（合併前）、佐久市（合併前）、小諸市、旧更埴市（千曲市）
諏訪・伊那	松本市（合併前）、塩尻市（合併前）、飯田市（合併前）、松川町、高森町
飯田	伊那市（合併前）、駒ヶ根市
松本	長野市（合併前）、岡谷市、諏訪市、辰野町、大町市（合併前）、池田町、旧穂高町（安曇野市）、旧豊科町（安曇野市）、旧梓川村（松本市）、旧三郷村（安曇野市）、上田市（合併前）、旧更埴市（千曲市）
南安曇・木曾	松本市（合併前）、塩尻市（合併前）、大町市（合併前）、池田町、山形村、飯田市（合併前）、伊那市（合併前）
大町	旧穂高町（安曇野市）、旧明科町（安曇野市）、旧豊科町（安曇野市）、松本市（合併前）、塩尻市（合併前）、長野市（合併前）、旧信州新町（長野市）、旧梓川村（松本市）、旧三郷村（安曇野市）、旧堀金村（安曇野市）、上田市（合併前）、旧更埴市（千曲市）
長野	松本市（合併前）、上田市（合併前）
各地区共通	無店舗販売、その他県内、県外

Ⅱ 調査資料の利用にあたって

Ⅱ 調査資料の利用にあたって

1 用語の定義

(1) 地元滞留率

居住する地元市町村（平成15年8月31日現在の旧市町村単位）内で主に買物をする世帯の割合（％）

(2) 流出率

地元市町村以外で主に買物をする世帯の割合（％）

(3) 吸引率

流出率を流出先の市町村側からとらえた割合（％）

（例）A市 地元滞留率	70%
B市への流出率	20%
C市への流出率	10%
合計	100%
B市はA市からの吸引率	20%

(4) 居住人口

令和3年10月1日現在の「長野県人口推計」（情報政策課）による。

（合併により旧市町村単位の人口が不明のものについては、令和2年10月1日実施の国勢調査における旧市町村の人口を使用し、案分により算出した。）

（例）

合併した市町村の場合

R3. 10. 1 現在の人口①		旧市町村名	R2 国勢調査人口	割合②	案分人口①×②
佐久穂町	10,102	佐久穂町	6,745	66.0%	6,668
		八千穂村	3,473	34.0%	3,434

本報告書で使用している人口

(5) 地元滞留人口

居住人口×地元滞留率

(6) 流入人口

吸引している市町村の居住人口とその吸引率から次式により求めた人口

（例）A市 流入人口

$$\begin{aligned}
 &= \{(B市の居住人口) \times (B市からの吸引率)\} + \{(C市の居住人口) \times \\
 &\quad (C市からの吸引率)\} + \{(D町の居住人口) \times (D町からの吸引率)\} \\
 &\quad + \dots + \{(Z村の居住人口) \times (Z村からの吸引率)\}
 \end{aligned}$$

（ただし、B市、C市、D町・・・Z村は、吸引率2%以上の市町村）

(7) 吸引人口

地元滞留人口＋流入人口

(8) 吸引力係数

$(\text{吸引人口} \div \text{居住人口}) \times 100$

居住人口に対する吸引人口の百分比であり、数値が大きいほど地元滞留率並びに他市町村からの流入人口の割合が高いことを示す。

(9) 商圈

商業施設・集積等が顧客を吸引する地理的な範囲を示す。

本調査では、各地域から当該商業施設・集積への流出率に注目して次の3区分に分類している。

ア 一次商圈

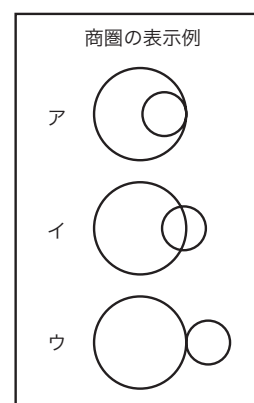
地域の消費需要の**30%以上**を吸引している地域

イ 二次商圈

地域の消費需要の**10%以上 30%未満**を吸引している地域

ウ 三次商圈

地域の消費需要の**5%以上 10%未満**を吸引している地域



(10) 商圈人口

商圈内の居住人口。

ただし、地元滞留率が5%未満の市町村は当該市町村の居住人口とする。

(11) 影響圏

地域の消費需要の**2%以上 5%未満**を吸引している地域

商圈に次ぐ顧客を吸引する地理的な範囲

2 比率の算出方法

本調査は、各世帯に商品6郡19品目の主な買物場所（市町村単位等）及び主な購入店舗（6業態店）について、それぞれ1つずつ回答を得たものを、居住地（市町村単位）別に集計し、品目ごとに有効回答数を分母として比率（%）を算出した。

算出例：長野市（合併前）の地元滞留率

$$\begin{aligned} &= (\text{「長野市（合併前）居住者のうち市内で買い物をした有効回答数」} \\ &\quad \div \text{「長野市（合併前）居住の有効回答数」}) \times 100 \\ &= (16,998 \div 18,630) \times 100 \\ &\doteq 91.2\% \end{aligned}$$

3 本調査資料の解説

(1) 資料1 市町村別の吸引人口と吸引力係数

居住人口、地元滞留率、吸引率から求めた全品目平均の吸引人口と吸引力係数を市町村別に掲載している。

(2) 資料2 市町村の商圈人口・地元滞留率・吸引力係数（降順）

(3) 資料3 市町村別地元滞留率の推移

全品目平均と衣料品、身の回り品、文化品、飲食料品、日用品及び贈答品の6商品群の市町村別地元滞留率について、平成元年調査以降27年間の推移を示している。

(4) 資料4 市町村別県外への流出、無店舗販売の利用状況

市町村別県外への流出率と主な商品群について、市町村別無店舗販売の利用率を掲載している。

(5) 資料5 市町村別商圈動向

今回調査の全品目平均と6商品群について、市町村別地元滞留率と他市町村からの吸引率を掲載している。

(6) 資料6 市町村別買物状況

市町村別、品目（19品目）別に、買物場所（市町村等）と購入店舗（6業態店）の比率を掲載している。

(7) 資料7 インターネットを利用した買物状況

(8) 資料8 お買物調査票（アンケート用紙）

今回使用した調査票（8地区別）のうち、佐久・小諸地区について掲載している。なお、他7地区の調査票の内容は、地区に応じて設定してある買物場所（市町村等）の選択肢以外、全て同じものである。

(注)

- ・本調査資料中に掲載してある図及び表の市町村名に関しては、前回調査等との比較のため、平成15年8月31日現在の旧市町村単位での表記となっている。
- ・一部の調査資料には、参考として山口村（現在の岐阜県中津川市）の過去データを記載している。
- ・本調査資料中に掲載してある地図の太線は現在の市町村（合併後）界を、細線は旧市町村（合併前）界を示す。

4 当県における過去の商圈調査及び買物行動調査

調査年度	調査内容（テーマ）	商圈調査の際に併せて行った調査
昭和45年度	一般家庭を対象とした商圈調査	—
46	若い独身者を対象とした商圈調査	—
47	一般家庭を対象とした商圈調査	—
48	若い独身者を対象とした商圈調査	—
49	衣料品についての買物行動調査	—
50	一般家庭を対象とした商圈調査	—
51	食料品についての買物行動調査	—
52	一般家庭を対象とした商圈調査	—
53	勤労女性を対象とした衣料品商圈調査	—
54	一般家庭を対象とした商圈調査	地元の商店街・商店に対する意見要望
55	勤労者を対象とした食生活の調査	—
56	一般家庭を対象とした商圈調査	地元の商店街・商店に対する意見要望
57	勤労女性を対象とした買物行動調査	—
58	一般家庭を対象とした商圈調査	地元の商店街・商店に対する意見要望
59	若い勤労者を対象とした買物行動調査	—
60	一般家庭を対象とした商圈調査	地元の商店街・商店に対する意見要望
61	独身勤労者を対象とした買物行動調査	—
62	一般家庭を対象とした商圈調査	通信販売の利用状況、購入した商品
63	無店舗販売利用の実態調査	—
平成元年	一般家庭を対象とした商圈調査	クレジットカード保有状況、利用状況
2	車社会における勤労者の買物行動調査	—
3	一般家庭を対象とした商圈調査	高速道路を利用した買物状況
4	若い勤労者を対象とした買物行動調査	—
5	一般家庭を対象とした商圈調査	スタンプの収集状況、満足度等
6	業態別店舗利用動向調査	—
7	一般家庭を対象とした商圈調査	品目別利用業態別店内滞留時間
8	シルバー世代の買物行動調査	—
9	一般家庭を対象とした商圈調査	高速道路を利用した買物状況
10	働く女性の買物行動調査	—
12	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況
13	一般消費者を対象とした買物行動調査	商店街活性化に対する意見・要望
15	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況
18	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況
21	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況
24	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況
27	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況
30	一般家庭を対象とした商圈調査	インターネットを利用した買物状況

Ⅲ 調査結果の要約

Ⅲ 調査結果の要約

1 商圏人口 ～上位7市で全県の過半を占める

商圏人口は、市町村の商業機能の影響が及ぶ範囲を表す指標である。平成の合併前の市町村別に商圏人口をみると、県下最大規模の長野市（合併前）（635千人）を筆頭に、松本市（合併前）（600千人）、佐久市（合併前）（239千人）、上田市（合併前）（239千人）の順となっている。町村部においては、旧穂高町（安曇野市）（148千人）と旧豊科町（安曇野市）（126千人）が10万人を超え、箕輪町（61千人）、旧梓川村（松本市）（47千人）、高森町（43千人）と続いている（表1）。

上位7市で、全商圏人口（4,191千人）の54.1%を占めている。

表1 市町村別商圏人口（上位25位）《全品目平均》と商圏構成市町村数

（人、％）

順位	市町村名	商 圏 人 口					商圏構成市町村数	
		合計	一次商圏	二次商圏	三次商圏	増減率	市町村数	増減
1	長野市（合併前）	635,498	494,742	117,791	22,965	3.3	31	3
2	松本市（合併前）	600,204	344,199	154,198	101,807	-2.3	36	-3
3	佐久市（合併前）	239,303	203,921	6,218	29,164	0.7	19	0
4	上田市（合併前）	238,638	207,347	28,796	2,495	-16.9	15	-3
5	伊那市（合併前）	196,320	95,794	95,941	4,585	0.4	17	0
6	諏訪市	192,064	62,281	63,810	65,973	-0.1	6	0
7	飯田市（合併前）	167,145	158,161	0	8,984	-1.0	20	1
8	旧穂高町（安曇野市）	148,195	32,374	69,553	46,268	-3.4	14	-3
9	岡谷市	132,510	65,973	18,299	48,238	-1.5	4	0
10	茅野市	126,091	63,810	14,043	48,238	1.2	4	0
11	旧豊科町（安曇野市）	125,659	32,942	89,479	3,238	-16.9	14	-1
12	中野市（合併前）	117,219	57,159	47,531	12,529	8.7	12	2
13	塩尻市（合併前）	101,778	66,874	6,820	28,084	-10.5	7	-3
14	須坂市	66,484	55,828	10,656	0	-0.3	3	0
15	旧更埴市（千曲市）	63,379	36,257	23,809	3,313	-1.4	6	0
16	小諸市	62,200	40,873	0	21,327	11.2	3	1
17	箕輪町	60,628	24,807	34,219	1,602	4.5	4	1
18	駒ヶ根市	54,075	49,490	4,585	0	0.2	4	0
19	旧梓川村（松本市）	46,745	0	13,791	32,954	55.7	4	2
20	大町市（合併前）	46,202	25,625	10,998	9,579	-5.7	6	-1
21	高森町	43,018	0	37,174	5,844	14.8	6	1
22	飯山市	32,153	28,363	0	3,790	-15.4	5	-1
23	旧臼田町（佐久市）	31,355	0	18,016	13,339	25.5	6	1
24	旧東部町（東御市）	29,847	0	29,847	0	2.1	2	0
25	山形村	29,731	0	13,091	16,640	-1.1	5	0

- （注）
- ・一次商圏：地域の消費需要の30%以上を吸引している地域
 - ・二次商圏：地域の消費需要の10%以上30%未満を吸引している地域
 - ・三次商圏：地域の消費需要の5%以上10%未満を吸引している地域
 - ・商圏人口：商圏内の居住人口

表2 市町村別商圏人口（上位25位）《全品目平均》の推移

順位	市町村名	令和3年	増減率 (%)	平成30年		増減率 (%)	平成27年	
		商圏人口		商圏人口	順位		商圏人口	順位
1	長野市（合併前）	635,498	3.3	615,485	1	-2.9	634,172	1
2	松本市（合併前）	600,204	-2.3	614,635	2	4.6	587,633	2
3	佐久市（合併前）	239,303	0.7	237,613	4	-2.6	243,942	3
4	上田市（合併前）	238,638	-16.9	287,121	3	18.6	242,035	4
5	伊那市（合併前）	196,320	0.4	195,537	5	8.9	179,539	6
6	諏訪市	192,064	-0.1	192,259	6	-11.8	217,895	5
7	飯田市（合併前）	167,145	-1.0	168,909	7	-4.5	176,788	7
8	旧穂高町（安曇野市）	148,195	-3.4	153,393	8	40.2	109,398	11
9	岡谷市	132,510	-1.5	134,575	10	90.2	70,769	13
10	茅野市	126,091	1.2	124,585	11	-2.4	127,593	10
11	旧豊科町（安曇野市）	125,659	-16.9	151,303	9	-3.5	156,838	8
12	中野市（合併前）	117,219	8.7	107,822	13	-20.5	135,608	9
13	塩尻市（合併前）	101,778	-10.5	113,665	12	27.5	89,148	12
14	須坂市	66,484	-0.3	66,674	14	-2.8	68,624	15
15	旧更埴市（千曲市）	63,379	-1.4	64,277	15	6.3	60,443	16
16	小諸市	62,200	11.2	55,957	17	14.0	49,086	20
17	箕輪町	60,628	4.5	57,998	16	-3.6	60,159	17
18	駒ヶ根市	54,075	0.2	53,990	18	6.3	50,786	18
19	旧梓川村（松本市）	46,745	55.7	30,020	24	-33.3	45,041	21
20	大町市（合併前）	46,202	-5.7	48,991	19	-1.7	49,827	19
21	高森町	43,018	14.8	37,475	21	10.4	33,932	23
22	飯山市	32,153	-15.4	38,028	20	-6.5	40,661	22
23	旧臼田町（佐久市）	31,355	25.5	24,976	26	-16.6	29,936	26
24	旧東部町（東御市）	29,847	2.1	29,234	25	-2.2	29,899	27
25	山形村	29,731	-1.1	30,073	23	7.5	27,962	28

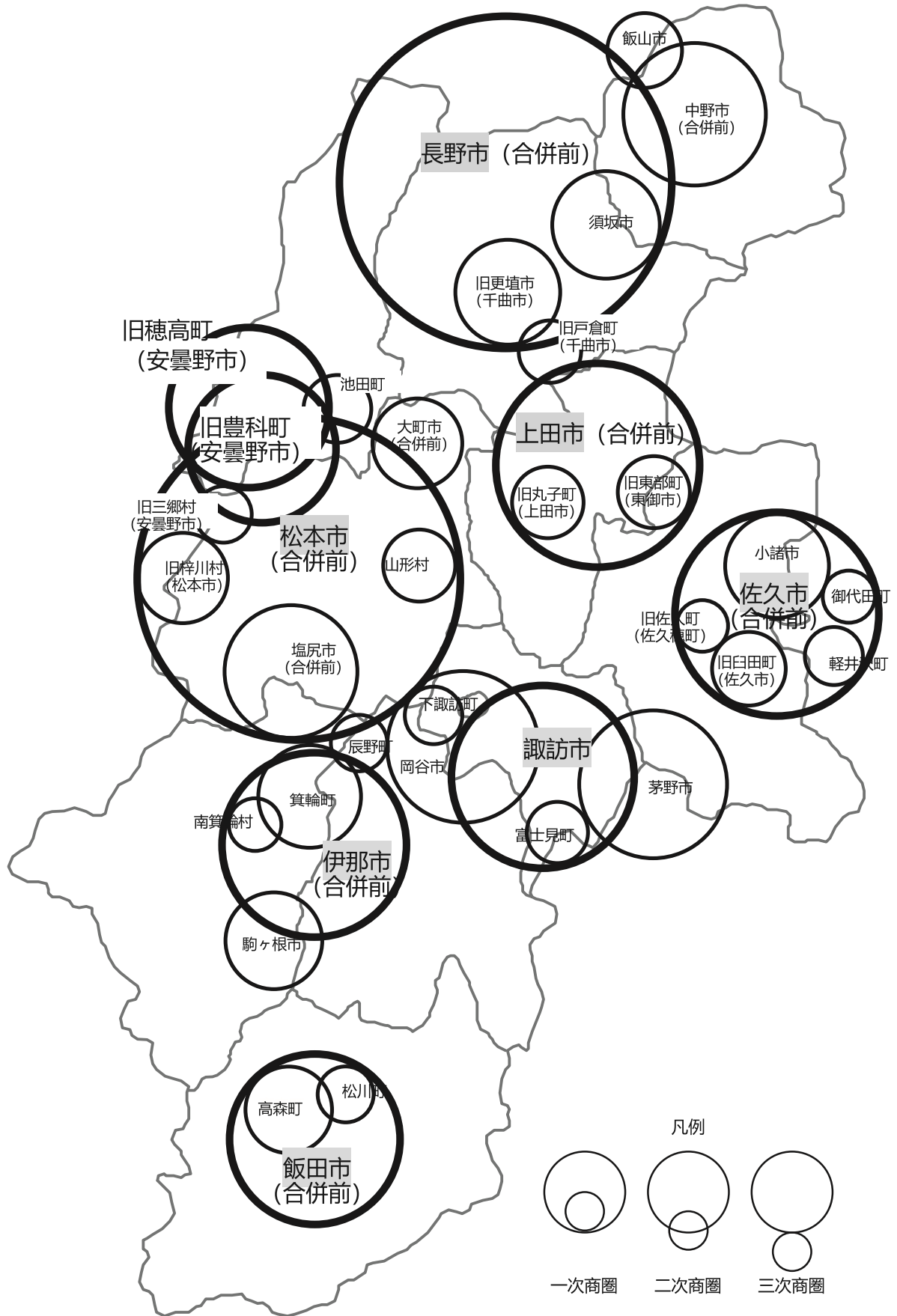
県内上位25市町村の商圏人口と前回調査を比べると、7市4町1村で商圏人口が増加、10市2町1村で商圏人口が減少している。特に、4市3町1村では、10%以上の増減がみられた（表2）。

最も増加率が高い旧梓川村（松本市）では、前回調査で商圏となっていなかった旧波田町（松本市）（前回吸引率2.3%）からの吸引率を5.3%、旧安曇村（松本市）（吸引率0.0%）からの吸引率を13.0%とし、商圏人口が約1万6千人増加した。

次に増加率が高い旧臼田町（佐久市）では、前回調査で商圏となっていなかった小海町（吸引率4.5%）からの吸引率を11.7%、旧八千穂村（佐久穂町）（吸引率0.0%）からの吸引率を5.3%とし、商圏人口が約6千人増加した。

また3番目に増加率が高い高森町では、喬木村（前回吸引率1.6%）からの吸引率を7.6%とし、商圏に加えたことにより、商圏人口が約5千人増加した。

図1 長野県の商圈構造（概念図）



(注) 円の大きさは商圈の規模を表す。17市と商圈人口上位20町村を記載。
網掛けは、商圈人口15万人以上の商圈を表す。

減少率が最も高い旧豊科町（安曇野市）では、前回商圏であった大町市（合併前）3.4%（前回吸引率 9.3%）と王滝村 0.0%（前回吸引率 7.3%）が商圏外となったことにより、商圏人口が約 2 万 6 千人減少した。

同率で減少率が最も高い上田市（合併前）では、前回商圏であった旧更埴市（千曲市）4.6%（前回吸引率 6.1%）、旧八千穂村（佐久穂町）0.0%（前回吸引率 5.5%）、旧望月町（佐久市）1.4%（前回吸引率 5.0%）が商圏外となったことから、商圏人口が約 4 万 8 千人減少した。

また、3 番目に減少率が高い飯山市では、前回商圏であった旧三水村（飯綱町）1.3%（前回吸引率 6.3%）が商圏外となったことから、商圏人口が約 6 千人減少した。

2 地元滞留率 ～ 4 市で増加、町村部の約 9 割超が 30%未満

消費者が居住市町村で買物をする割合を示す地元滞留率をみると、80%を超えた市は 17 市中 6 市と、前回調査と同様の結果となっている。また、4 市で地元滞留率が増加している。一方、諏訪市で 5 ポイント以上の減少がみられる（表 3）。

減少率が最も高い諏訪市の流出状況をみると、岡谷市への流出率が 7.2%（前回調査 5.7%）と前回よりも増加している。

町村部の地元滞留率をみると、102 町村のうち 39 町村において増加した一方で、45 町村で減少がみられる。このうち、16 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。

地元滞留率別に町村数の推移をみると、昭和 60 年度以降増加し平成 21 年度に減少した「30%未満」の町村数が今回も増加し、過去最多の 98 町村となった。平成 21 年度に増加した「30%以上 50%未満」の町村数は、前回同様減少し、過去最少の 2 町となった（図 2）。

商品別地元滞留率の県平均をみると、飲食料品と日用品については、今回も 70%を超える状態が維持されている（表 4）。

表3 市町村別地元滞留率（上位30位）《全品目平均》の推移

順位	市町村名	令和3年	増減	平成30年		増減	平成27年	
		地元滞留率		地元滞留率	順位		地元滞留率	順位
1	長野市(合併前)	89.8	-1.4	91.2	1	-2.0	93.2	1
2	飯田市(合併前)	89.2	1.1	88.1	5	-2.0	90.1	4
3	松本市(合併前)	87.5	-3.0	90.5	2	0.3	90.2	3
4	上田市(合併前)	86.7	-2.5	89.1	3	-2.3	91.5	2
5	佐久市(合併前)	84.1	-4.4	88.5	4	1.4	87.1	5
6	伊那市(合併前)	81.1	-0.1	81.2	6	-4.5	85.7	6
7	岡谷市	66.1	-5.4	71.5	7	16.5	55.0	13
8	中野市(合併前)	64.3	-3.9	68.2	9	2.5	65.7	8
9	諏訪市	61.9	-8.7	70.6	8	-5.6	76.1	7
10	駒ヶ根市	60.7	-3.3	64.0	10	-0.9	64.9	9
11	旧穂高町(安曇野市)	52.5	-2.2	54.6	13	-1.1	55.7	12
12	大町市(合併前)	52.0	1.9	50.1	16	-1.1	51.2	15
13	茅野市	51.6	-3.5	55.1	12	-4.4	59.5	11
14	旧豊科町(安曇野市)	51.0	0.6	50.4	15	-9.3	59.7	10
15	旧更埴市(千曲市)	48.6	3.2	45.4	19	-3.7	49.2	18
16	飯山市	47.4	-7.8	55.2	11	4.2	50.9	17
17	箕輪町	46.9	-4.2	51.1	14	0.1	51.0	16
18	塩尻市(合併前)	45.1	-4.2	49.4	17	-4.4	53.8	14
19	須坂市	42.2	-3.2	45.4	18	-1.3	46.7	19
20	小諸市	39.8	1.2	38.6	20	3.9	34.7	21
21	軽井沢町	33.8	-1.0	34.7	22	3.3	31.4	23
22	富士見町	29.5	-8.3	37.8	21	2.6	35.2	20
23	旧東部町(東御市)	29.2	2.3	26.9	24	0.2	26.7	27
24	旧梓川村(松本市)	27.8	10.1	17.7	43	-5.8	23.4	33
25	旧臼田町(佐久市)	26.8	4.4	22.4	32	-8.2	30.5	25
26	立科町	26.5	5.2	21.3	34	-3.0	24.3	31
27	高森町	26.3	0.7	25.6	28	4.0	21.6	37
28	山形村	24.8	-6.2	30.9	23	4.8	26.1	28
29	辰野町	24.0	-1.8	25.8	26	-5.2	31.0	24
30	旧丸子町(上田市)	23.5	-2.2	25.7	27	-4.6	30.3	26

図2 地元滞留率階級別町村数の推移

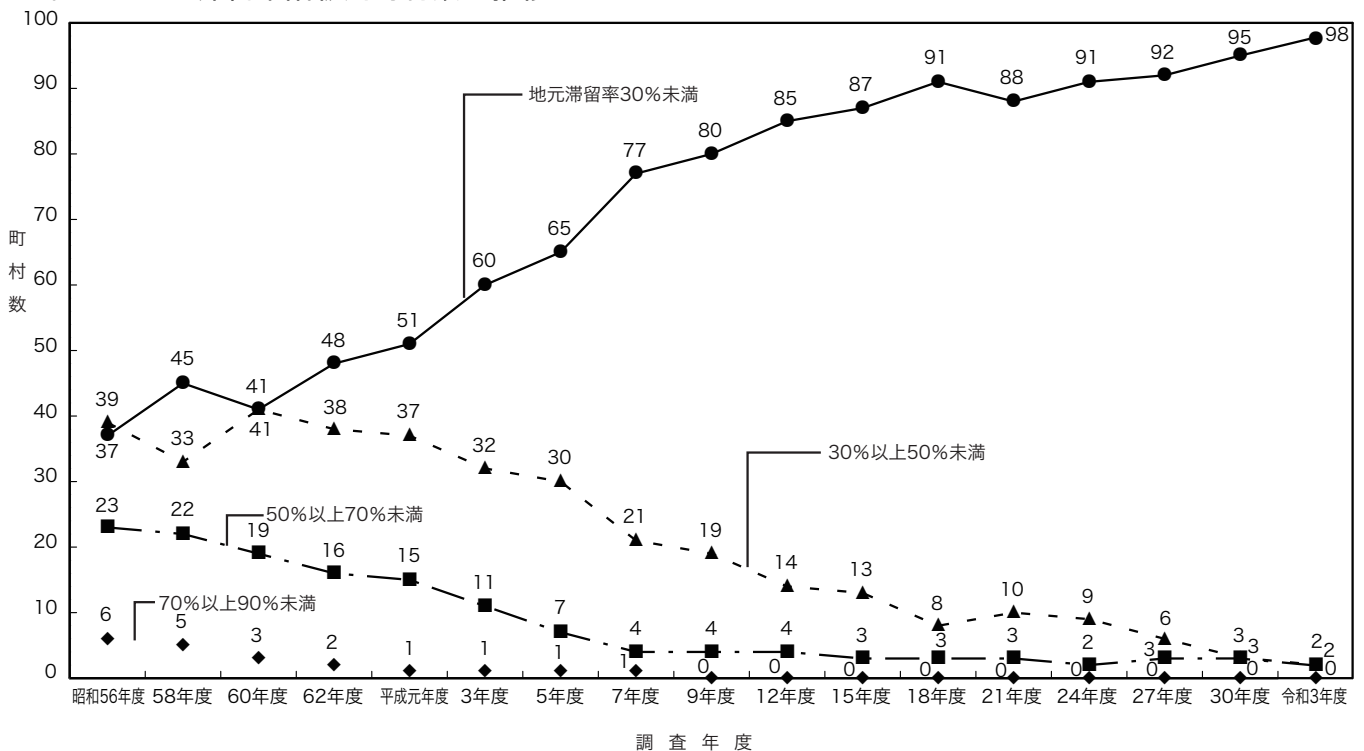


表4 商品別の地元滞留率

(%)

	衣料品	身の回り品	文化品	飲食料品	日用品	その他	全品目平均
市部平均	71.5	65.9	71.7	94.1	94.9	71.4	75.7
町村部平均	9.3	12.6	7.7	42.9	42.8	16.9	17.0
県平均	49.1	46.6	48.7	75.7	76.2	51.8	54.6

(注)

- ・衣料品：紳士服・婦人服・子供服等
- ・文化品：電化製品・時計・眼鏡・書籍等
- ・日用品：日用雑貨・医薬品
- ・身の回り品：化粧品・靴・カバン等
- ・飲食料品：生鮮食料品・その他食料品
- ・その他：贈答品（中元・歳暮等）

3 吸引力係数 ～100%を超えたのは10市町

市町村の商業力の基本的な指標の一つとなる吸引力係数については、前回調査と同じく佐久市（合併前）（187.4%）が最も高い（表5）。

吸引力係数が100%を超える市町村は、他市町村から消費者を集め、自らの居住人口を上回る集客力を持っているため、その地域商業における中核的な役割を果たしていると考えられる。吸引力係数が100%を超えているのは、市部で9市、町村部では、旧豊科町（安曇野市）（119.1%）の1町である。このうち、9市町で吸引力係数が減少した。

前回と比べると、市部では、岡谷市（107.2%）で7.1ポイント、小諸市（47.8%）で6.2ポイント、茅野市（71.9%）で4.2ポイント、旧更埴市（千曲市）（66.5%）で2.1ポイント、大町市（合併前）（65.0%）で0.8ポイント増加した。一方、伊那市（合併前）（144.7%）で0.5ポイント、飯田市（合併前）（131.7%）で1.7ポイント、松本市（合併前）（140.3%）で1.8ポイント、長野市（合併前）（117.4%）で2.5ポイント、須坂市（50.3%）で3.2ポイント、塩尻市（合併前）（53.3%）で5.8ポイント、中野市（合併前）（115.5%）で6.9ポイント、駒ヶ根市（87.0%）で7.9ポイント、上田市（合併前）（137.5%）で7.9ポイント、飯山市（68.4%）で12.6ポイント、諏訪市（113.0%）で12.7ポイント、佐久市（合併前）（187.4%）で13.3ポイント減少した。17市中、吸引力を高めたのは5市となり、12市において集客力が低下しているといえる。

町村部では、旧安曇村（松本市）、旧梓川村（松本市）、旧木曾福島町（木曾町）で10ポイント以上増加している。一方、旧奈川村（松本市）（0.0%）で△35.2ポイント、旧豊野町（長野市）（7.8%）で△22.3ポイント、旧八坂村（大町市）（0.0%）で△20.5ポイント、旧堀金村（安曇野市）（21.0%）で△18.3ポイントと15ポイント以上減少した。

全町村のうち、35町村で前回調査よりも吸引力係数を増加させているが、旧豊科町（安曇野市）を除く町村は、吸引力係数が100%未満（吸引人口が居住人口を下回る）となっている。

表5 市町村別吸引係数（上位30位）《全品目平均》の推移

順位	市町村名	令和3年	増減	平成30年		増減	平成27年	
		吸引係数		吸引係数	順位		吸引係数	順位
1	佐久市(合併前)	187.4	-13.3	200.7	1	-12.5	213.2	1
2	伊那市(合併前)	144.7	-0.5	145.2	3	2.5	142.7	3
3	松本市(合併前)	140.3	-1.8	142.1	4	1.4	140.7	4
4	上田市(合併前)	137.5	-7.9	145.4	2	-0.2	145.6	2
5	飯田市(合併前)	131.7	-1.7	133.4	5	-3.7	137.1	6
6	旧豊科町(安曇野市)	119.1	-5.4	124.5	7	-2.8	127.3	8
7	長野市(合併前)	117.4	-2.5	119.9	9	-4.4	124.3	9
8	中野市(合併前)	115.5	-6.9	122.4	8	-7.5	129.9	7
9	諏訪市	113.0	-12.7	125.7	6	-14.3	140.0	5
10	岡谷市	107.2	7.1	100.1	11	34.7	65.4	17
11	旧穂高町(安曇野市)	99.4	-3.9	103.3	10	-4.1	107.4	10
12	駒ヶ根市	87.0	-7.9	94.9	12	1.8	93.1	11
13	茅野市	71.9	4.2	67.7	15	-10.3	78.0	13
14	飯山市	68.4	-12.6	81.0	13	2.5	78.5	12
15	旧更埴市(千曲市)	66.5	2.1	64.4	17	-6.9	71.3	15
16	高森町	65.8	4.5	61.3	19	4.5	56.8	20
17	大町市(合併前)	65.0	0.8	64.2	18	-3.3	67.5	16
18	箕輪町	63.6	-12.7	76.3	14	4.3	72.0	14
19	山形村	53.8	-11.9	65.7	16	6.3	59.4	19
20	塩尻市(合併前)	53.3	-5.8	59.1	20	-1.7	60.8	18
21	旧木曾福島町(木曾町)	52.3	14.2	38.1	26	-14.6	52.7	22
22	須坂市	50.3	-3.2	53.5	21	-2.7	56.2	21
23	小諸市	47.8	6.2	41.6	24	3.6	38.0	30
24	旧梓川村(松本市)	46.7	16.2	30.5	33	-17.1	47.6	23
25	旧佐久町(佐久穂町)	42.1	5.6	36.5	28	-7.1	43.6	27
26	旧臼田町(佐久市)	39.7	8.3	31.4	32	-15.4	46.8	25
27	立科町	37.5	-0.4	37.9	27	2.1	35.8	31
28	富士見町	35.4	-9.1	44.5	23	3.9	40.6	29
29	池田町	34.6	4.9	29.7	36	14.8	14.9	46
30	軽井沢町	34.5	-0.2	34.7	30	0.8	33.9	32

4 商圏変動の類型 ～縮小商圏が約6割を占める

自市町村以外にも商圏を有する17市及び25町村について、それぞれの商圏人口と吸引人口の増減率から商圏の変動状況を分析すると、次のパターンに分類できる。

なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圏は前回よりもやや増加し、全体の約6割を占める結果となった。

Iのゾーン 『成長商圏』

商圏人口、吸引人口ともに増加し、拡大傾向にある商圏

IIのゾーン 『吸引商圏』

商圏人口は減少したが、吸引人口は増加した商圏

IIIのゾーン 『流動商圏』

商圏人口は増加したが、吸引人口が減少した商圏

IVのゾーン 『縮小商圏』

商圏人口、吸引人口ともに減少し、低落傾向にある商圏

図3及び図4から、これら4つのゾーンに属する市町村をまとめると次のようになる。

I 『成長商圏』：10市町村（±0）

小諸市、茅野市

旧梓川村（松本市）、池田町、松川町、旧臼田町（佐久市）、高森町、
旧信州新町（長野市）、旧佐久町（佐久穂町）、旧東部町（東御市）

II 『吸引商圏』：5市町村（+1）

松本市（合併前）、岡谷市、旧更埴市（千曲市）

小海町、旧木曾福島町（木曾町）

III 『流動商圏』：12市町村（+6）

長野市（合併前）、伊那市（合併前）、駒ヶ根市、中野市（合併前）

佐久市（合併前）

旧本城村（筑北村）、旧日義村（木曾町）、旧望月町（佐久市）、麻績村
箕輪町、旧三郷村（安曇野市）、富士見町

IV 『縮小商圏』：15市町村（△3）

上田市（合併前）、飯田市（合併前）、諏訪市、須坂市、大田市（合併前）

飯山市、塩尻市（合併前）

山形村、旧戸倉町（千曲市）、白馬村、旧穂高町（安曇野市）、旧丸子町（上田市）
立科町、阿智村（合併前）、旧豊科町（安曇野市）

※（ ）内は前回調査と比較した市町村数の増減

図3 商圈変動の類型（17市）

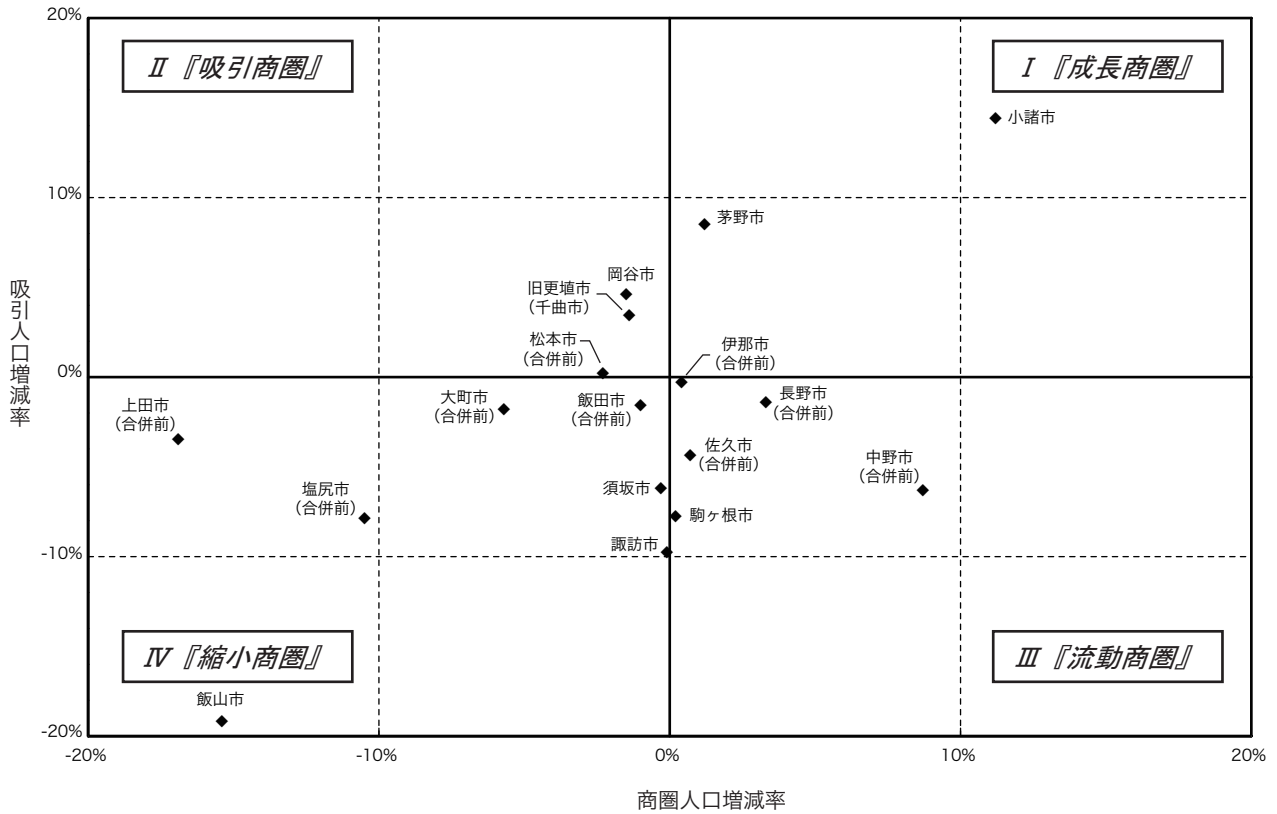
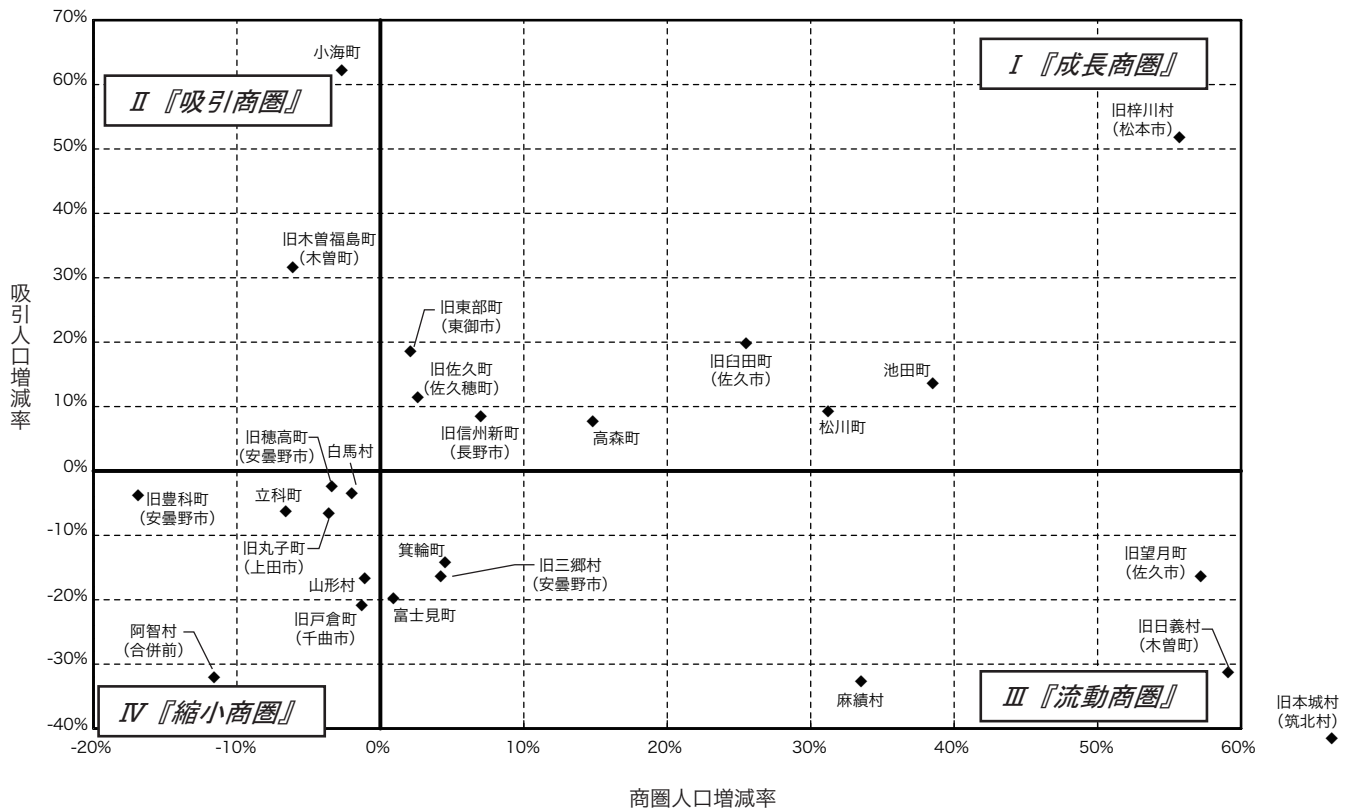


図4 商圈変動の類型（自町村以外にも商圈を有する25町村）



5 県外流出率 ～流出率が増加した町村数の増加

県外への流出率が高く 20%を超えている町村は、南木曾町 (72.9%)、大桑村 (50.0%)、川上村 (32.5%)、根羽村 (30.0%)、栄村 (23.2%)、南牧村 (20.9%) の 6 町村となる (表 6)。

流出率が 5%を超えるのは、14 町村 (前回調査比△11) であった。

前回調査と比較すると、県外への流出率が減少した市町村数が 76 市町村となり、増加した市町村数を上回っている。

表 6 市町村別県外への流出率 (上位 10 位)

順位	市町村名	令和 3 年	増減	平成 30 年		増減	平成 27 年	
		流出率		流出率	順位		流出率	順位
1	南木曾町	72.9	-12.8	85.7	1	1.1	84.7	1
2	大桑村	50.0	-4.9	54.9	2	3.0	51.9	2
3	川上村	32.5	0.5	32.0	4	14.5	17.6	6
4	根羽村	30.0	0.3	29.7	6	8.1	21.6	4
5	栄村	23.2	-9.6	32.8	3	18.1	14.7	7
6	南牧村	20.9	-10.3	31.1	5	8.0	23.2	3
7	信濃町	13.6	6.9	6.7	17	3.6	3.1	33
8	旧八坂村(大町市)	8.0	6.9	1.1	81	1.1	0.0	102
9	上松町	6.9	2.6	4.4	29	3.4	1.0	74
10	木祖村	5.9	0.0	5.9	19	5.9	0.0	102

6 無店舗販売の利用 ～利用がさらに拡大

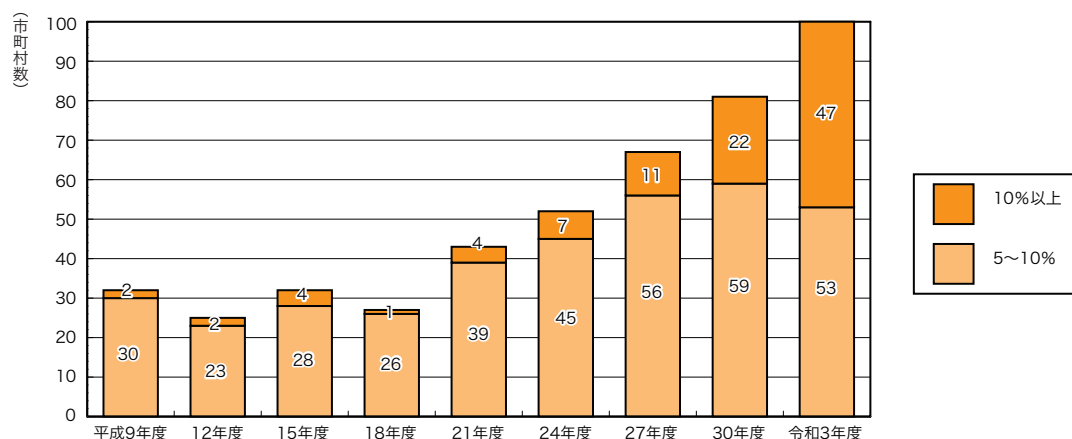
無店舗販売注) の利用率が 5%以上を占めているのは、小谷村 (23.4%)、旧美麻村 (大町市) (22.2%)、旧鬼無里村 (長野市) (21.6%)、下條村 (20.8%) 池田町 (20.7%) など 100 市町村 (前回調査比+19) である。

前回調査でも無店舗販売の影響を受ける市町村が大きく増加しているが、今回もさらに増加し、消費需要に大きな影響を与える買物形態になったといえる (図 5)。

商品群でみると、5%以上の消費需要があったのは、身の回り品 (化粧品・靴・鞆など) で 104 市町村 (前回調査比+2)、衣料品で 91 市町村 (前回調査比+25)、飲食料品で 7 町村 (前回調査比△9) であった。

注) 無店舗販売：通信販売 (カタログ、TVショッピング、インターネットショッピング)、訪問販売、移動販売等

図 5 無店舗販売利用率階級別市町村数の推移



7 業態別利用店舗 ～専門スーパー利用割合が約5割に

主に買物をする業態店を商品群別に尋ねたところ、飲食料品、その他（贈答品）で大規模スーパーの、衣料品、身の回り品、文化品、日用品では専門スーパーの利用割合が高かった（図6）。

利用店舗の推移をみると、大規模スーパーの利用割合がやや低下し、専門スーパーの利用割合がやや増加している。また、一般小売店の利用割合は、やや増加している（図7）。

図6 商品群別業態別利用店舗（全県平均）

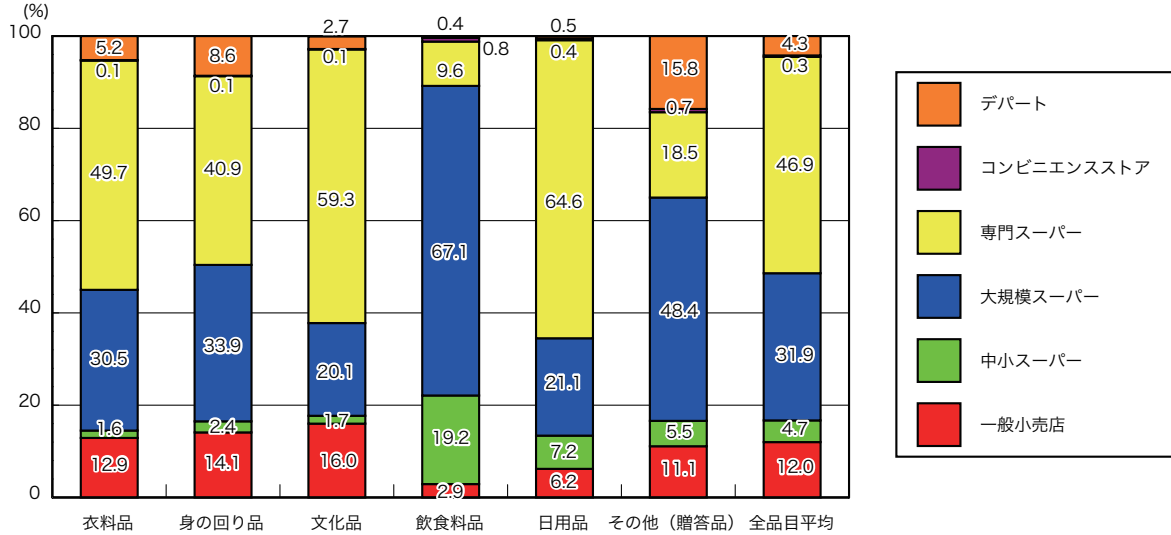
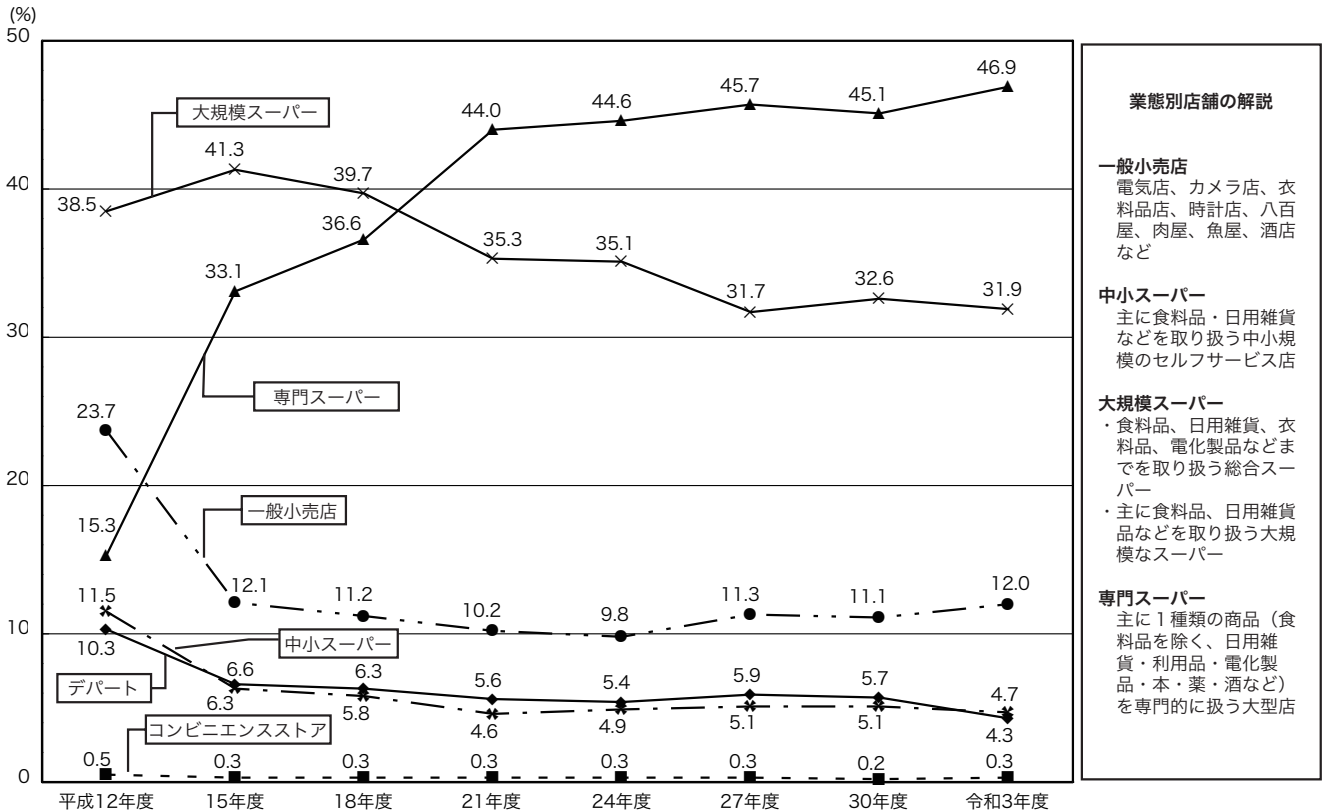


図7 利用店舗割合（全品目平均・全県平均）の推移



8 インターネットを利用した買物状況 ～利便性などから身近なツールとして利用が定着

過去1年間にインターネットを利用したと回答した人は95%を超え、前回調査よりさらに利用が拡大していることが分かる。また、インターネット利用による買物をした人の割合は、前回調査からさらに7.2ポイント増加した（図8、9）。

インターネットで買物をしたいという意向を持っている回答者に買物理由を尋ねたところ、前回同様に、「他では手に入らないから」が最も多く、次に、「配達してくれるから」、「割引等のサービスがあるから」の順となっている。「他では手に入らない」はほぼ同じ回答割合となるが、「配達してくれる」8.2ポイント、「割引等のサービスがある」5.1ポイント、「購入手続きが簡単」6.3ポイント増加している（図10）。

図8 過去1年間のインターネット利用状況

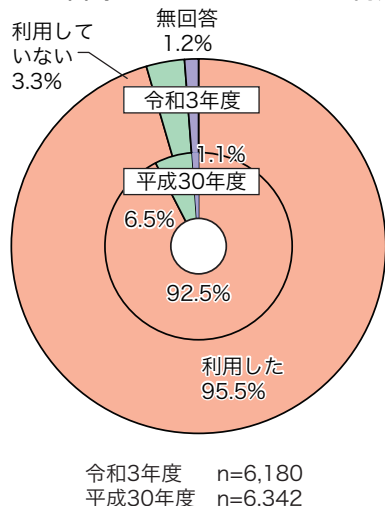


図9 インターネットを利用した買物の利用者割合

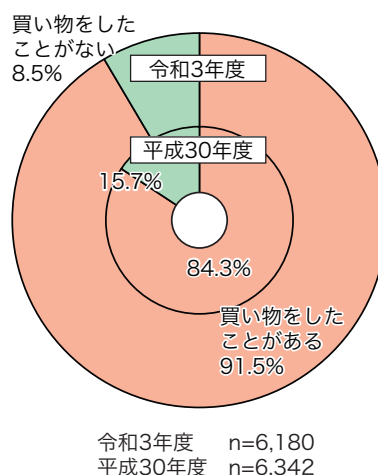
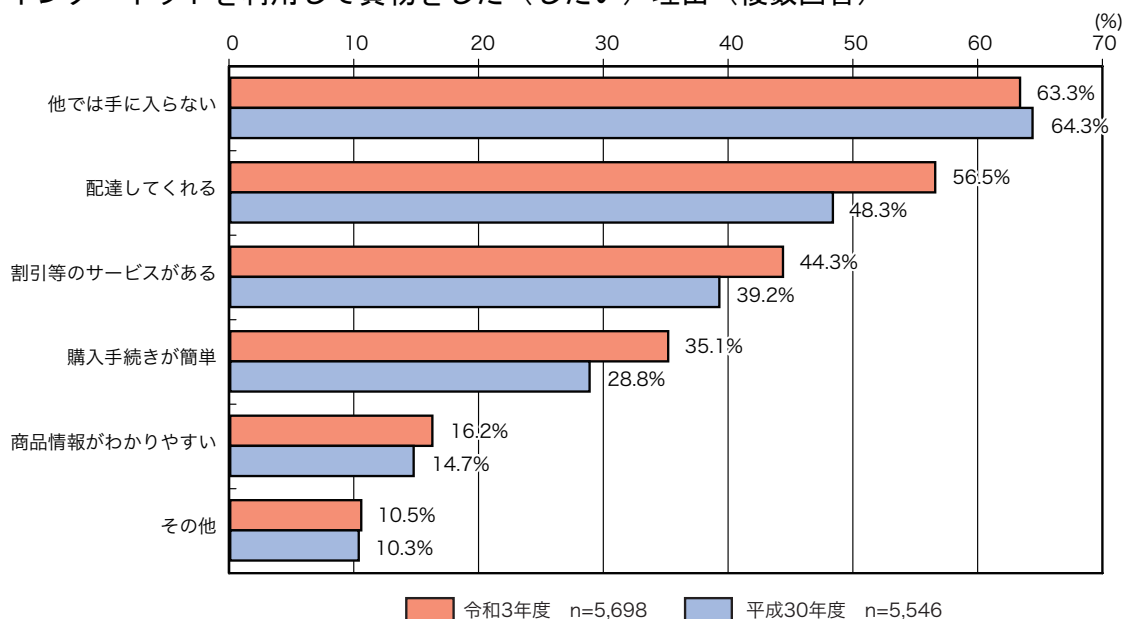


図10 インターネットを利用して買物をした（したい）理由（複数回答）



IV 調査結果

IV 調査結果

1 長野県の商圈動向

(1) 商圈（全品目平均）

《市部》

商圈人口は、17市（市町村単位）中、長野市（合併前）（635千人）が最も多く、2番目となる松本市（合併前）（600千人）と2大商圈を形成している。続いて、佐久市（合併前）（239千人）、上田市（合併前）（238千人）、伊那市（合併前）（196千人）、諏訪市（192千人）、飯田市（合併前）（167千人）の5市を加えた7市が、それぞれ15万人を上回っている。佐久市（合併前）は、僅差で上田市（合併前）を上回り、3番目の商圈人口となった。

この他、商圈人口10万人以上15万人未満を有するのは、岡谷市（133千人）、茅野市（126千人）、中野市（合併前）（117千人）、塩尻市（合併前）（102千人）の4市となる。残りの6市は10万人未満となる（表1）。

前回（平成30年度）調査と比較して商圈人口の伸び率が最も高かったのは、小諸市で+11.2%、次に、中野市（合併前）+8.7%、長野市（合併前）+3.3%と続いている。反対に最も減少したのは、上田市（合併前）△16.9%、飯山市△15.4%、塩尻市（合併前）△10.5%であった。

商圈を構成する市町村数が前回調査よりも増加した市は、長野市（合併前）（+3）、中野市（合併前）（+2）、飯田市（合併前）（+1）、小諸市（+1）の4市であった。反対に減少した市は、松本市（合併前）（△3）、塩尻市（合併前）（△3）、上田市（合併前）（△3）、飯山市（△1）、大町市（合併前）（△1）の5市であった（表2）。

《町村部》

町村部（旧町村単位）の商圈人口は、102町村中、旧穂高町（安曇野市）（148千人）、旧豊科町（安曇野市）（126千人）の2町が10万人を超えている（表3）。

前回調査との増減をみると、旧本城村（筑北村）が87.8%と最も大きく、10%を超えた町村は、11町村となる。一方、最も減少したのは、松川村で△49.9%であった。

自町村以外の周辺市町村も商圈にしているのは、25町村である。旧望月町（佐久市）、旧日義村（木曾町）、旧本城村（筑北村）、麻績村、旧三郷村（安曇野市）、旧信州新町（長野市）では、今回の調査で自町村以外の周辺市町村を商圈とした（表4）。

今回の調査で周辺市町村から5%以上吸引できず、商圈が自町村のみとなったのは、旧真田町（上田市）と松川村の2町村であった。

図1 商圈人口4万人以上の市町村における商圈人口の比較

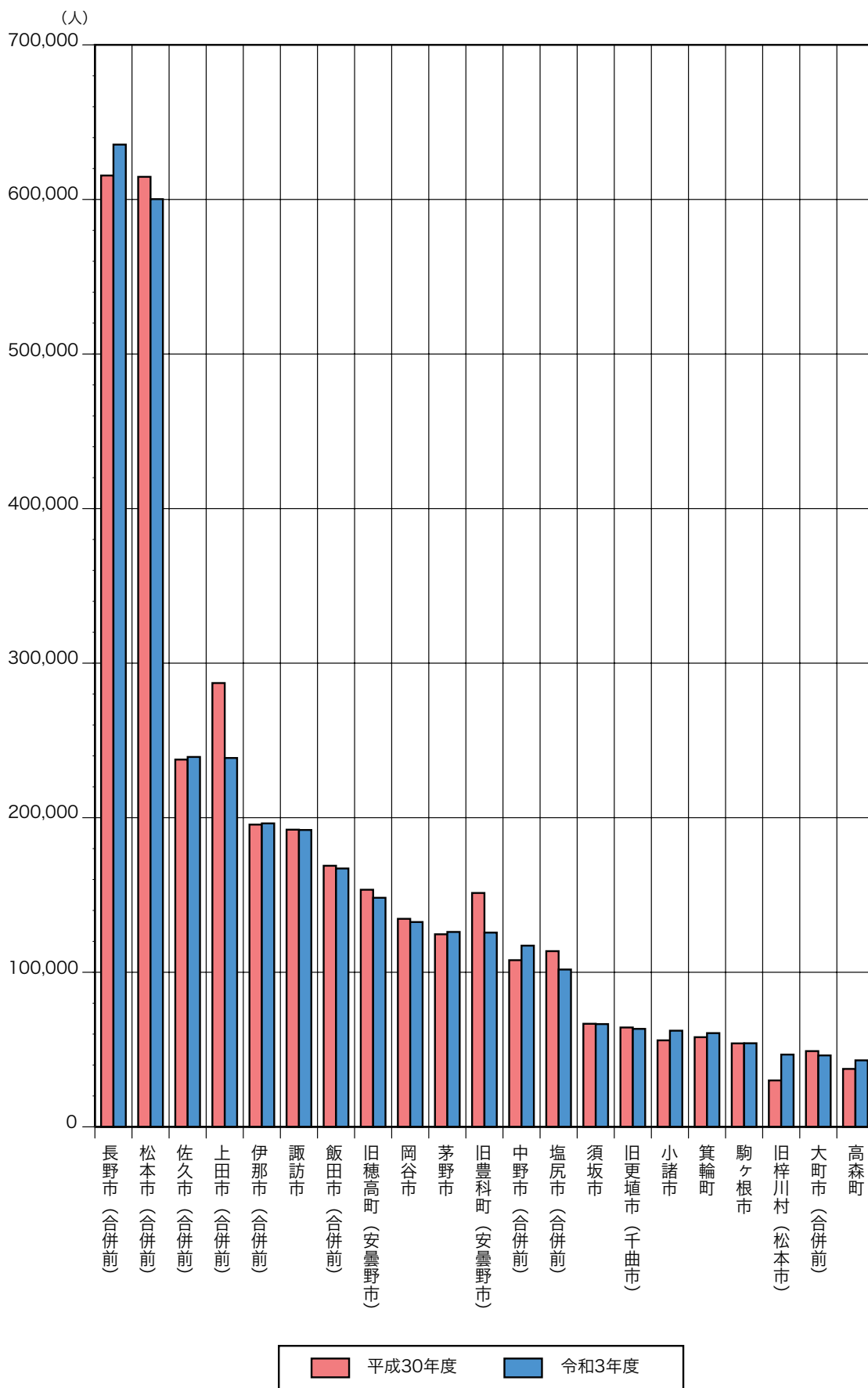


表 1 市部商圏《全品目平均》

(単位：人)

区分 市名	一次商圏 (吸引率30%以上)		二次商圏 (吸引率10%以上30%未満)		三次商圏 (吸引率5%以上10%未満)		商圏人口 合計	影響圏 (吸引率2%以上5%未満)		
	商圏内市町村	計	商圏内市町村	計	商圏内市町村	計		商圏内市町村	計	
長野市(合併前)	長野市(合併前) 須坂市 旧更埴市(千曲市) 旧大岡村(長野市) 小布施町 高山村 旧信州新町(長野市) 旧豊野町(長野市)	信濃町 旧牟礼村(飯綱町) 旧三水村(飯綱町) 旧戸隠村(長野市) 旧鬼無里村(長野市) 小川村 旧中条村(長野市) 栄村	16市町村 494,742	中野市(合併前) 飯山市 旧本城村(筑北村) 麻績村 旧美濃村(大町市) 白馬村 小谷村	13市町村 117,791	旧上山田町(千曲市) 旧戸倉町(千曲市) 山ノ内町 木島平村 野沢温泉村 旧豊田村(中野市)	2町 22,965	31市町村 635,498	大町市(合併前) 旧坂北村(筑北村) 旧八坂村(大町市)	3市村 27,202
松本市(合併前)	松本市(合併前) 塩尻市(合併前) 旧榑川村(塩尻市) 木祖村 旧波田町(松本市) 旧四黄村(松本市) 旧坂北村(筑北村)	麻績村 山形村 朝日村 旧奈川村(松本市) 旧安曇村(松本市) 旧梓川村(松本市) 旧三郷村(安曇野市)	14市町村 344,199	大町市(合併前) 辰野町 旧木曾福島町(木曾町) 上松町 旧日義村(木曾町) 旧開田村(木曾町) 旧明科町(安曇野市) 旧本城村(筑北村)	15市町村 154,198	生坂村 旧豊科町(安曇野市) 旧穂高町(安曇野市) 旧堀金村(安曇野市) 池田町 松川村 旧八坂村(大町市)	7市町村 101,807	36市町村 600,204	諏訪市 伊那市(合併前) 駒ヶ根市 茅野市 川上村 原村 南箕輪村 旧三岳村(木曾町) 大桑村	9市村 224,729
上田市(合併前)	上田市(合併前) 旧北御牧村(東御市) 旧丸子町(上田市) 旧長門町(長和町) 旧東部町(東御市) 旧真田町(上田市)	旧武石村(上田市) 旧和田村(長和町) 青木村 旧坂井村(筑北村) 坂城町	11市町村 207,347	立科町 旧上山田町(千曲市) 旧戸倉町(千曲市)	3町 28,796		15市町村 238,638	旧更埴市(千曲市) 旧中条村(長野市)	2市村 38,099	
岡谷市	岡谷市 下諏訪町		2市町 65,973	辰野町	1町 18,299		1市 48,238	4市町 132,510	茅野市 原村 箕輪町	3市町村 86,608
飯田市(合併前)	飯田市(合併前) 中川村 松川町 高森町 阿南町 旧清内路村(阿智村) 阿智村(合併前) 旧浪合村(阿智村) 平谷村 根羽村	下條村 壳木村 天龍村 泰阜村 喬木村 豊丘村 大鹿村 旧上村(飯田市) 旧南信濃村(飯田市)	19市町村 158,161			飯島町	1町 8,984	20市町村 167,145	南木曾町	1町 4,033
諏訪市	諏訪市 富士見町		2市町 62,281	茅野市 原村	2市村 63,810	岡谷市 下諏訪町	2市町 65,973	6市町村 192,064	辰野町	1町 18,813
須坂市	須坂市 高山村		2市村 55,828	小布施町	1町 10,656			3市町村 66,484	旧豊田村(中野市)	1村 4,082
小諸市	小諸市		1市 40,873			御代田町 旧浅科村(佐久市)	2町村 21,327	3市町村 62,200	佐久市(合併前) 北相木村 旧北御牧村(東御市)	3市村 75,390
伊那市(合併前)	伊那市(合併前) 旧高遠町(伊那市) 南箕輪村 旧長谷村(伊那市)	宮田村 上松町 旧三岳村(木曾町) 王滝村	8市町村 95,794	駒ヶ根市 辰野町 箕輪町 飯島町	8市町村 95,941	旧木曾福島町(木曾町) 木祖村 旧日義村(木曾町) 旧開田村(木曾町)	1村 4,585	17市町村 196,320	大桑村	1村 3,545
駒ヶ根市	駒ヶ根市 飯島町 宮田村		3市町村 49,490	中川村	1村 4,585			4市町村 54,075	大鹿村	1村 978
中野市(合併前)	中野市(合併前) 山ノ内町 木島平村 旧豊田村(中野市)		4市町村 57,159	飯山市 小布施町 野沢温泉村	6市町村 47,531	旧豊野町(長野市) 旧三水村(飯綱町) 栄村	2村 12,529	12市町村 117,219	高山村 旧牟礼村(飯綱町)	
大町市(合併前)	大町市(合併前) 旧八坂村(大町市) 旧美濃村(大町市)		3市村 25,625	白馬村 小谷村	2村 10,998	松川村	1村 9,579	6市村 46,202	池田町	1町 9,520
飯山市	飯山市 木島平村 野沢温泉村 栄村		4市村 28,363			旧豊田村(中野市)	1村 3,790	5市村 32,153		
茅野市	茅野市 原村		2市村 63,810	富士見町	1町 14,043	諏訪市	1市 48,238	4市町村 128,091		
塩尻市(合併前)	塩尻市(合併前) 旧榑川村(塩尻市)		2市村 66,874	木祖村 朝日村	2村 6,820	辰野町 旧木曾福島町(木曾町) 上松町	3町 28,084	7市町村 101,778	旧日義村(木曾町) 旧開田村(木曾町) 大桑村	3村 7,249
旧更埴市(千曲市)	旧更埴市(千曲市)		1市 36,257	旧坂北村(筑北村) 旧上山田町(千曲市)	3町村 23,809	麻績村 旧大岡村(長野市)	2村 3,313	6市町村 63,379	坂城町	1町 14,106
佐久市(合併前)	小諸市 佐久市(合併前) 旧白田町(佐久市) 旧佐久町(佐久穂町) 小海町 川上村 南牧村 南相木村	北相木村 旧八千穂村(佐久穂町) 軽井沢町 旧望月町(佐久市) 御代田町 立科町 旧浅科村(佐久市)	15市町村 203,921	旧北御牧村(東御市) 旧和田村(長和町)	2村 6,218	旧長門町(長和町) 旧東部町(東御市)	2町 29,164	19市町村 239,303		

表2 市部商圏の推移<<全品目平均>>

(単位：人、%)

区分 市名	一次商圏			二次商圏			三次商圏			商圏人口			
	平成27年	平成30年	令和3年	平成27年	平成30年	令和3年	平成27年	平成30年	令和3年	平成27年	平成30年	令和3年	増減 (対H30)
長野市(合併前)	16市町村 513,872	16市町村 504,076	16市町村 494,742	12市町村 118,038	12市町村 111,409	13市町村 117,791	2村 2,262		2町 22,965	30市町村 634,172	28市町村 615,485	31市町村 635,498	3 3.3
松本市(合併前)	13市町村 340,763	11市町村 339,708	14市町村 344,199	18市町村 155,332	17市町村 156,217	15市町村 154,198	4市町村 91,538	11市町村 118,710	7市町村 101,807	35市町村 587,633	39市町村 614,635	36市町村 600,204	-3 -2.3
上田市(合併前)	11市町村 217,452	11市町村 210,364	11市町村 207,347	1町 17,289	4町村 28,235	3町 28,796	1町 7,294	3市町村 48,522	1村 2,495	13市町村 242,035	18市町村 287,121	15市町村 238,638	-3 -16.9
岡谷市	1市 50,332	2市町 67,674	2市町 65,973	1町 20,437	1町 18,813	1町 18,299		1市 48,088	1市 48,238	2市町 70,769	4市町 134,575	4市町 132,510	0 -1.5
飯田市(合併前)	18市町村 167,373	18市町村 159,848	19市町村 158,161				1町 9,415	1町 9,061	1町 8,984	19市町村 176,788	19市町村 168,909	20市町村 167,145	1 -1
諏訪市	1市 49,800	2市村 55,639	2市町 62,281	5市町村 148,562	3市町 88,428	2市村 63,810	1町 19,533	1市 48,192	2市町 65,973	7市町村 217,895	6市町村 192,259	6市町村 192,064	0 -0.1
須坂市	2市村 57,831	2市村 56,208	2市村 55,828	1町 10,793	1町 10,466	1町 10,656				3市町村 68,624	3市町村 66,674	3市町村 66,484	0 -0.3
小諸市	1市 42,923	1市 41,080	1市 40,873				1村 6,163	1町 14,877	2町村 21,327	2市村 49,086	2市町 55,957	3市町村 62,200	1 11.2
伊那市(合併前)	5市町村 92,524	9市町村 97,276	8市町村 95,794	4市町 87,015	6市町村 85,655	8市町村 95,941		2町村 12,606	1村 4,585	9市町村 179,539	17市町村 195,537	17市町村 196,320	0 0.4
駒ヶ根市	3市町村 50,786	3市町村 49,333	3市町村 49,490		1村 4,657	1村 4,585				3市町村 50,786	4市町村 53,990	4市町村 54,075	0 0.2
中野市(合併前)	3市町村 56,585	3市町村 54,005	4市町村 57,159	8市町村 64,015	6市町村 44,402	6市町村 47,531	2町村 15,008	1町 9,415	2村 12,529	13市町村 135,608	10市町村 107,822	12市町村 117,219	2 8.7
大町市(合併前)	3市村 28,150	3市村 26,479	3市村 25,625	2村 11,794	2村 11,226	2村 10,998	1村 9,883	2村 11,286	1村 9,579	6市村 49,827	7市村 48,991	6市村 46,202	-1 -5.7
飯山市	4市村 31,687	3市村 27,911	4市村 28,363		1村 1,761		2村 8,974	2村 8,356	1村 3,790	6市村 40,661	6市村 38,028	5市村 32,153	-1 -15.4
茅野市	2市村 62,935	1市 54,972	2市村 63,810	1町 14,858	2町村 21,525	1町 14,043	1市 49,800	1市 48,088	1市 48,238	4市町村 127,593	4市町村 124,585	4市町村 126,091	0 1.2
塩尻市(合併前)	2市村 66,817	2市村 65,759	2市村 66,874	1村 2,915	3村 9,324	2村 6,820	5町村 19,416	5町村 38,582	3町 28,084	8市町村 89,148	10市町村 113,665	7市町村 101,778	-3 -10.5
更埴市(千曲市)	2市町 54,530	1市 36,221	1市 36,257	1町 5,913	3町村 24,196	3町村 23,809		2村 3,860	2村 3,313	3市町 60,443	6市町村 64,277	6市町村 63,379	0 -1.4
佐久市(合併前)	15市町村 209,798	16市町村 204,308	15市町村 203,921	2町村 9,259	2町村 8,893	2村 6,218	1町 24,885	1町 24,412	2町 29,164	18市町村 243,942	19市町村 237,613	19市町村 239,303	0 0.7

表3 自町村以外にも商圏を持つ町村部商圏《全品目平均》

(単位:人)

区分 町村名	一次商圏 (吸引率30%以上)		二次商圏 (吸引率10%以上30%未満)		三次商圏 (吸引率5%以上10%未満)		商圏人数 合計	影響圏 (吸引率2%以上5%未満)		
	商圏内市町村	計	商圏内市町村		商圏内市町村			商圏内市町村	計	
旧臼田町(佐久市)			旧臼田町(佐久市) 小海町 南相木村	3 町村 18,016	旧佐久町(佐久穂町) 南牧村 旧八千穂村(佐久穂町)	3 町村 13,339	6 町村 31,355			
旧佐久町(佐久穂町)			旧佐久町(佐久穂町) 南相木村 旧八千穂村(佐久穂町)	3 町村 11,054	小海町	1 町 4,259	4 町村 15,313	南牧村 北相木村	2 村 3,640	
小海町			小海町 北相木村	2 町村 4,985	南相木村	1 村 952	3 町村 5,937			
旧望月町(佐久市)					旧望月町(佐久市) 旧浅科村(佐久市)	2 町村 13,670	2 町村 13,670			
立科町			立科町	1 町 6,495	旧望月町(佐久市)	1 町 8,052	2 町 14,547			
旧丸子町(上田市)			旧丸子町(上田市) 旧長門町(長和町)	2 町村 29,641	旧武石村(上田市) 旧和田村(長和町)	2 町村 29,641	4 町村 29,641			
旧東部町(東御市)			旧北御牧村(東御市) 旧東部町(東御市)	2 町村 29,847			2 町村 29,847			
富士見町			富士見町 原村	2 町村 21,710			2 町村 21,710			
箕輪町	箕輪町	1 町 24,807	辰野町 南箕輪村	2 町村 34,219	旧長谷村(伊那市)	1 村 1,602	4 町村 60,628			
松川町			松川町 大鹿村	2 町村 13,399	中川村	1 村 4,585	3 町村 17,984	飯島町 高森町 売木村 豊丘村	4 町村 28,703	
高森町			中川村 松川町 高森町	3 町村 37,174	豊丘村 大鹿村	2 町村 37,174	5 町村 37,174	飯島町 宮田村 売木村	3 町村 18,066	
阿智村(合併前)			平谷村	1 村 380	旧清内路村(阿智村) 阿智村(合併前)	2 村 5,487	3 村 5,867			
旧木曾福島町(木曾町)			旧木曾福島町(木曾町) 上松町 旧開田村(木曾町)	3 町村 13,044	旧三岳村(木曾町) 王滝村	2 町村 13,044	5 町村 13,044	旧日義村(木曾町)	1 村 2,068	
旧日義村(木曾町)			旧日義村(木曾町)	1 村 2,068	旧開田村(木曾町)	1 村 1,409	2 村 3,477	旧木曾福島町(木曾町) 上松町 旧三岳村(木曾町)	3 町村 11,619	
旧本城村(筑北村)					旧本城村(筑北村) 旧坂北村(筑北村)	2 村 3,048	2 村 3,048	旧坂井村(筑北村)	1 村 1,207	
麻績村					麻績村 旧坂井村(筑北村)	2 村 3,541	2 村 3,541			
山形村			山形村 朝日村 旧奈川村(松本市)	3 村 13,091	旧波田町(松本市) 旧安曇村(松本市)	2 町村 16,640	5 町村 29,731			
旧豊科町(安曇野市)	旧四賀村(松本市) 生坂村 旧豊科町(安曇野市)	3 町村 32,942	旧明科町(安曇野市) 旧本城村(筑北村) 旧坂北村(筑北村) 旧坂井村(筑北村) 旧穂高町(安曇野市)	5 町村 89,479	旧三郷村(安曇野市) 旧堀金村(安曇野市) 池田町 松川村	4 町村 89,479	9 町村 89,479	麻績村 旧八坂村(大町市)	2 村 3,238	
旧穂高町(安曇野市)	旧穂高町(安曇野市)	1 町 32,374	旧明科町(安曇野市) 旧四賀村(松本市) 旧本城村(筑北村) 生坂村	4 町村 69,553	旧豊科町(安曇野市) 池田町 松川村	3 町村 69,553	8 町村 69,553	大町市(合併前) 麻績村 旧坂井村(筑北村) 旧三郷村(安曇野市) 旧八坂村(大町市)	5 市村 46,268	
旧梓川村(松本市)			旧安曇村(松本市) 旧梓川村(松本市)	2 村 13,791			2 町村 32,954	4 町村 46,745	旧奈川村(松本市)	1 村 664
旧三郷村(安曇野市)			旧三郷村(安曇野市)	1 村 17,940			1 村 560	2 村 18,500		
池田町			池田町	1 町 9,264			2 町村 17,202	3 町村 26,466	旧本城村(筑北村) 生坂村	2 村 3,319
白馬村			白馬村 小谷村	2 村 10,998			2 村 10,998			
旧戸倉町(千曲市)			旧戸倉町(千曲市)	1 町 16,761			1 町 5,540	2 町 22,301		
旧信州新町(長野市)			旧大岡村(長野市)	1 村 818			1 町 3,518	2 町村 4,336		

表4 自町村以外にも商圏を持つ町村部商圏の推移<<全品目平均>>

(単位:人、%)

区分 町村名	一次商圏			二次商圏			三次商圏			商圏人口			
	平成27年	平成30年	令和3年	平成27年	平成30年	令和3年	平成27年	平成30年	令和3年	平成27年	平成30年	令和3年	増減 (対H30)
旧臼田町(佐久市)	2町村 15,230			3町村 14,706	1町 13,494	3町村 18,016		4町村 11,482	3町村 13,339	5町村 29,936	5町村 24,976	6町村 31,355	1 25.5
旧佐久町(佐久穂町)				3町村 12,377	2町村 10,511	3町村 11,054	2町村 8,078	1町 4,419	1町 4,259	5町村 20,455	3町村 14,930	4町村 15,313	1 2.6
小海町				1村 839	1村 750	2町村 4,985	1町 4,721	2町村 5,354	1村 952	2町村 5,560	3町村 6,104	3町村 5,937	0 -2.7
旧望月町(佐久市)				1町 9,405	1町 8,697				2町村 13,670	1町 9,405	1町 8,697	2町村 13,670	1 57.2
立科町				1町 7,294	2町 15,576	1町 6,495	2町村 14,419		1町 8,052	3町村 21,713	2町 15,576	2町 14,547	0 -6.6
旧丸子町(上田市)	2町 27,292			2村 5,648	3町村 28,993	4町村 29,641		1村 1,759		4町村 32,940	4町村 30,752	4町村 29,641	0 -3.6
旧東部町(東御市)				2町村 29,899	1町 24,412	2町村 29,847		1村 4,822		2町村 29,899	2町村 29,234	2町村 29,847	0 2.1
富士見町	1町 14,858	1町 13,974		1村 7,487	1村 7,551	2町村 21,710				2町村 22,345	2町村 21,525	2町村 21,710	0 0.9
箕輪町	1町 25,580	1町 24,085	1町 24,807	2町村 34,579	2町村 33,913	2町村 34,219			1村 1,602	3町村 60,159	3町村 57,998	4町村 60,628	1 4.5
松川町				2町村 14,283	1町 12,732	2町村 13,399	1村 4,882	1村 978	1村 4,585	3町村 19,165	2町村 13,710	3町村 17,984	1 31.2
高森町	1村 1,024			3町村 32,908	5町村 37,475	5町村 37,174			1村 5,844	4町村 33,932	5町村 37,475	6町村 43,018	1 14.8
阿智村(合併前)				1村 618	3村 6,091	1村 380	1村 5,396	1村 545	2村 5,487	2村 6,014	4村 6,636	3村 5,867	-1 -11.6
旧木曾福島町(木曾町)				3町村 12,886	2町村 7,525	5町村 13,044	3村 6,641	4町村 8,562	1村 2,068	6町村 19,527	6町村 16,087	6町村 15,112	0 -6.1
旧日義村(木曾町)				1村 2,325	1村 2,185	1村 2,068			1村 1,409	1村 2,325	1村 2,185	2村 3,477	1 59.1
旧本城村(筑北村)					1村 1,623				2村 3,048	1村 1,675	1村 1,623	2村 3,048	1 87.8
麻績村								1村 2,653	2村 3,541	1村 2,774	1村 2,653	2村 3,541	1 33.5
山形村		1村 8,205		2村 12,860	2村 6,267	3村 13,091	1町 15,102	2町村 15,601	2町村 16,640	3町村 27,962	5町村 30,073	5町村 29,731	0 -1.1
旧豊科町(安曇野市)	1町 27,563	2町村 28,771	3町村 32,942	12町村 100,251	11町村 96,973	9町村 89,479	2村 29,024	2市村 25,559	2村 3,238	15市町村 156,838	15市町村 151,303	14町村 125,659	-1 -16.9
旧穂高町(安曇野市)	4町村 44,264	1町 31,950	1町 32,374	5町村 35,748	8町村 67,665	8町村 69,553	4市村 29,386	8市村 53,778	5市村 46,268	13市町村 109,398	17市町村 153,393	14市町村 148,195	-3 -3.4
旧梓川村(松本市)				2町村 26,912	1村 12,271	2村 13,791	1村 18,129	1村 17,749	2町村 32,954	3町村 45,041	2村 30,020	4町村 46,745	2 55.7
旧三郷村(安曇野市)				1村 18,129	1村 17,749	1村 17,940	1村 11,810		1村 560	2村 29,939	1村 17,749	2村 18,500	1 4.2
池田町					1町 9,520	1町 9,264	2町村 11,866	1村 9,590	2町村 17,202	2町村 11,866	2町村 19,110	3町村 26,466	1 38.5
白馬村				2村 11,794	2村 11,226	2村 10,998				2村 11,794	2村 11,226	2村 10,998	0 -2
旧戸倉町(千曲市)				2町 23,202	2町 22,590	1町 16,761			1町 5,540	2町 23,202	2町 22,590	2町 22,301	0 -1.3
旧信州新町(長野市)				1町 4,831		1村 818		1町 4,052	1町 3,518	1町 4,831	1町 4,052	2町村 4,336	1 7

(2) 地元滞留率（全品目平均）

《市部》

地元滞留率が90%を超えた市はなく、長野市（合併前）（89.8%）、飯田市（合併前）（89.2%）、松本市（合併前）（87.5%）、上田市（合併前）（86.7%）、佐久市（合併前）（84.1%）、伊那市（合併前）（81.1%）の6市が8割台となっている。

17市のうち、最も地元滞留率が低いのは、小諸市（39.8%）、次いで、須坂市（42.2%）、塩尻市（合併前）（45.1%）、飯山市（47.4%）、旧更埴市（千曲市）（48.6%）の5市は5割を割込んでいる。50%以上70%未満の市は、茅野市（51.6%）、大町市（合併前）（52.0%）、駒ヶ根市（60.7%）、諏訪市（61.9%）、中野市（合併前）（64.3%）、岡谷市（66.1%）の6市となる。（表6）。

前回調査と比較すると、地元滞留率が増加している市は、旧更埴市（千曲市）（+3.2ポイント）、大町市（合併前）（+1.9ポイント）、小諸市（+1.2ポイント）、飯田市（合併前）（+1.1ポイント）の4市となる。一方、13市は地元滞留率が減少している。特に、岡谷市（△5.4ポイント）、飯山市（△7.8ポイント）、諏訪市（△8.7ポイント）は減少率が5ポイントを超えている。

《町村部》

町村部では、旧穂高町（安曇野市）（52.5%）、旧豊科町（安曇野市）（51.0%）、の2町で地元滞留率が50%を超えている。一方、50%未満の町村は、100町村であった（表5）。

前回調査に比べ、増加したのは39町村となる。このうち、最も増加した町村は、旧安曇村（松本市）（+17.4ポイント）、旧梓川村（松本市）（+10.1ポイント）と2村が10ポイントを超える増加となった。

反対に減少したのは、43町村となる。このうち、10ポイント以上の減少となったのは、旧八坂村（大町市）（△20.4ポイント）、旧豊野町（長野市）（△17.5ポイント）、旧本城村（筑北村）（△12.2ポイント）、小川村（△11.2ポイント）の4町村であった（表6）。

98町村で地元滞留率が30%未満となっており、地元滞留率が低い町村が大半を占めている状況は変わらない。

表5 地元滞留率別町村数の推移

調査年度	90%以上	70%以上 90%未満	50%以上 70%未満	30%以上 50% 未満	30%未満	町村数	摘要
平成7年度	0	1	4	21	77	103	H17山口村・ 岐阜県中津川市 に編入
9年度	0	0	4	19	80	103	
12年度	0	0	4	14	85	103	
15年度	0	0	3	13	87	103	
18年度	0	0	3	8	91	102	
21年度	0	0	3	10	88	※1 101	
24年度	0	0	2	9	91	102	
27年度	0	0	3	6	92	※2 101	
30年度	0	0	3	3	95	※3 101	
令和3年度	0	0	2	2	98	102	

※1 高遠町は含まない ※2 旧上村（飯田市）は含まない ※3 旧大岡村（長野市）は含まない

表6 地元滞留率と増減（前回調査比）《全品目平均》

	減 小				増減なし ±0ポイント	増 加				合計
	10ポイント以上	10ポイント未満 5ポイント以上	5ポイント未満 2ポイント以上	2ポイント未満 0ポイント超		2ポイント未満 0ポイント超	5ポイント未満 2ポイント以上	10ポイント未満 5ポイント以上	10ポイント以上	
90%以上										0
80%以上			松本市(合併前) 上田市(合併前) 佐久市(合併前)	長野市(合併前) 伊那市(合併前)		飯田市(合併前)				6
70%以上										0
60%以上		岡谷市 諏訪市	駒ヶ根市 中野市(合併前)							4
50%以上			茅野市 旧穂高町(安曇野市)			大町市(合併前) 旧豊科町(安曇野市)				4
40%以上		飯山市	須坂市 塩尻市(合併前) 箕輪町				旧更埴市(千曲市)			5
30%以上				軽井沢町		小諸市				2
20%以上		富士見町 山形村 旧堀金村(安曇野市)	旧丸子町(上田市) 旧戸倉町(千曲市)	辰野町		高森町 旧木曾福島町(木曾町)	旧臼田町(佐久市) 御代田町 旧東部町(東御市) 大桑村 池田町 白馬村	立科町	旧梓川村(松本市)	16
10%以上		旧日義村(木曾町)	旧佐久町(佐久穂町) 川上村 松川町 旧波田町(松本市) 坂城町	下諏訪町 松川村 信濃町		旧三郷村(安曇野市)	小布施町	小海町 南箕輪村	旧安曇村(松本市)	14
10%未満	旧本城村(筑北村) 旧八坂村(大町市) 旧豊野町(長野市) 小川村	旧和田村(長和町)	旧望月町(佐久市) 原村 中川村 宮田村 阿智村(合併前) 根羽村 上松町 旧三岳村(木曾町) 栄村	南牧村 旧真田町(上田市) 阿南町 下條村 赤木村 香木村 旧南信濃村(飯田市) 麻績村 旧坂井村(筑北村) 小谷村 山ノ内町 野沢温泉村 旧牟礼村(飯綱町)	南相木村 北相木村 旧浅科村(佐久市) 旧長谷村(伊那市) 旧清内路村(阿智村) 旧浪合村(阿智村) 平谷村 天龍村 泰阜村 大鹿村 旧上村(飯田市) 旧開田村(木曾町) 王滝村 旧四賀村(松本市) 旧奈川村(松本市) 旧美麻村(大町市) 旧鬼無里村(長野市) 旧中家村(長野市)	旧八千穂村(佐久穂町) 旧長門町(長和町) 旧武石村(上田市) 香木村 旧高遠町(伊那市) 飯島町 木祖村 生坂村 朝日村 旧上山田町(千曲市) 高山村 木島平村 旧三水村(飯綱町)	旧北御牧村(東御市) 旧明科町(安曇野市) 旧坂北村(筑北村) 旧信州新町(長野市) 旧戸隠村(長野市) 旧豊田村(中野市)	豊丘村 南木曾町 旧楡川村(塩尻市)	68	
合計	4	8	26	20	18	20	15	6	2	119

※旧大岡村(長野市)はデータがないため表記なし

(3) 吸引人口（全品目平均）

〈市部〉

10 万人以上の吸引人口を有する市は、長野市（合併前）（413 千人）、松本市（合併前）（290 千人）、上田市（合併前）（165 千人）、佐久市（合併前）（134 千人）、飯田市（合併前）（126 千人）の 5 市であった。

5 万人以上 10 万人未満を吸引する市は、伊那市（合併前）（85 千人）、諏訪市（55 千人）、岡谷市（50 千人）の 3 市であった。

前回調査と比べて増加したのは、小諸市（20 千人）で+14.4 ポイント、茅野市（40 千人）で+8.5 ポイント、岡谷市（50 千人）で+4.6 ポイント、旧更埴市（千曲市）（24 千人）で+3.4 ポイント、松本市（合併前）（290 千人）で+0.2 ポイントの 5 市であった。一方、減少幅が大きかったのは、飯山市（13 千人）で△19.2 ポイントであった。次に、諏訪市（55 千人）△9.8 ポイント、塩尻市（合併前）（34 千人）△7.9 ポイント、駒ヶ根市（28 千人）△7.8 ポイントになっている（表 7）。

〈町村部〉

2 万人以上の吸引人口を有するのは、前回と同数で、旧豊科町（安曇野市）（34 千人）、旧穂高町（安曇野市）（32 千人）の 2 町となる。前回調査と比較して、旧豊科町（安曇野市）で△3.8 ポイント、旧穂高町（安曇野市）で△2.5 ポイントの減少となっている（表 7）。

(4) 吸引力係数（全品目平均）

吸引力係数が 100%を超える市町村は、居住人口より吸引人口が大きく、その地域商業における中核的な役割を果たしていると考えられる。

市部で 100%を超えたのは、佐久市（合併前）（187.4%）、伊那市（合併前）（144.7%）、松本市（合併前）（140.3%）、上田市（合併前）（137.5%）、飯田市（合併前）（131.7%）、長野市（合併前）（117.4%）、中野市（合併前）（115.5%）、諏訪市（113.0%）、岡谷市（107.2%）の 9 市である。

前回調査と比較して、吸引力係数が増加している市は、岡谷市（+7.1 ポイント）、小諸市（+6.2 ポイント）、茅野市（+4.2 ポイント）、旧更埴市（千曲市）（+2.1 ポイント）、大町市（合併前）（+0.8 ポイント）の 5 市となる。一方、減少している市は、佐久市（合併前）（△13.3 ポイント）、諏訪市（△12.7 ポイント）、飯山市（△12.6 ポイント）などの 12 市となる。

町村部では、旧豊科町（安曇野市）（119.1%）の 1 町で吸引力係数が 100%を超えた。2 位の旧穂高町（安曇野市）（99.4%）までが、70%を超えている町村となる。前回調査と比較して、旧豊科町（安曇野市）で△5.4 ポイント、旧穂高町（安曇野市）では△3.9 ポイントの減少となっている。（表 8）。

表7 吸引人口と増減（前回調査比）《全品目平均》

	減 少				増減なし±0	増 加				合計
	50ポイント以上	50ポイント未満 10ポイント以上	10ポイント未満 5ポイント以上	5ポイント未満 0ポイント超		5ポイント未満 0ポイント超	10ポイント未満 5ポイント以上	50ポイント未満 10ポイント以上	50ポイント以上	
吸引人口	10万人以上			長野市(合併前) 上田市(合併前) 飯田市(合併前) 佐久市(合併前)		松本市(合併前)				5
	5万人以上			諏訪市	伊那市(合併前)	岡谷市				3
	2万人以上			須坂市 駒ヶ根市 中野市(合併前) 塩尻市(合併前)	旧豊科町(安曇野市) 旧穂高町(安曇野市)	旧更埴市(千曲市)	茅野市			8
	1万人以上	飯山市 箕輪町			大町市(合併前)			小諸市		4
	5千人以上			旧丸子町(上田市)		軽井沢町	高森町	旧臼田町(佐久市) 旧東部町(東御市)	旧梓川村(松本市)	6
	2千人以上		下諏訪町 富士見町 山形村 旧三郷村(安曇野市) 旧戸倉町(千曲市)	立科町 辰野町	白馬村		松川町	旧佐久町(佐久穂町) 御代田町 旧木曾福島町(木曾町) 池田町 小布施町	南箕輪村	15
	1千人以上		旧波田町(松本市) 旧堀金村(安曇野市) 松川村 坂城町 信濃町							5
	500人以上	旧豊野町(長野市)	旧望月町(佐久市) 旧真田町(上田市) 宮田村 旧日義村(木曾町) 大桑村 山ノ内町					旧上山田町(千曲市)	小海町 豊丘村	10
	100人以上	原村	旧武石村(上田市) 中川村 阿南町 阿智村(合併前) 旧本城村(筑北村) 麻績村 旧牟礼村(飯綱町)	川上村 喬木村		旧長門町(長和町) 旧榎川村(塩尻市) 旧安曇村(松本市) 旧豊田村(中野市)	旧高遠町(伊那市) 旧信州新町(長野市)	飯島町 旧三水村(飯綱町)	旧北御牧村(東御市) 南木曾町 旧明科町(安曇野市) 旧坂北村(筑北村)	22
	100人未満	旧和田村(長和町) 売木村 上松町 旧坂井村(筑北村) 旧奈川村(松本市) 旧八坂村(大町市) 小谷村 野沢温泉村 小川村 栄村	南牧村 根羽村 下條村 旧南信濃村(飯田市)			南相木村 北相木村 旧浅科村(佐久市) 旧長谷村(伊那市) 旧清内路村(阿智村) 旧浪合村(阿智村) 平谷村 天龍村 泰阜村 大鹿村 旧上村(飯田市) 旧開田村(木曾町) 王滝村 旧四賀村(松本市) 生坂村 朝日村 旧美麻村(大町市) 高山村 木島平村 旧戸隠村(長野市) 旧鬼無里村(長野市) 旧中条村(長野市)			旧八千穂村(佐久穂町) 青木村 木祖村	40
合計	12	29	10	9	26	5	5	11	11	118

※旧大岡村(長野市)は前回調査(平成30年)データがないため表記なし

表8 吸引力係数と増減（前回調査比）《全品目平均》

	吸引力係数	減少				増減なし ±0ポイント	増加				合計
		50ポイント以上	50ポイント未満 10ポイント以上	10ポイント未満 5ポイント以上	5ポイント未満 0ポイント超		5ポイント未満 0ポイント超	10ポイント未満 5ポイント以上	50ポイント未満 10ポイント以上	50ポイント以上	
130以上			佐久市(合併前)	上田市(合併前)	松本市(合併前) 飯田市(合併前) 伊那市(合併前)						5
100以上			諏訪市	中野市(合併前) 旧豊科町(安曇野市)	長野市(合併前)			岡谷市			5
80以上				駒ヶ根市	旧穂高町(安曇野市)						2
50以上			飯山市 箕輪町 山形村	塩尻市(合併前)	須坂市		大町市(合併前) 茅野市 旧更埴市(千曲市) 高森町		旧木曾福島町(木曾町)		10
40以上								小諸市 旧佐久町(佐久穂町)	旧梓川村(松本市)		3
30以上			旧日義村(木曾町)	富士見町	軽井沢町 立科町 旧丸子町(上田市)		旧東部町(東御市) 池田町	旧臼田町(佐久市)			8
20以上			旧堀金村(安曇野市)	旧戸倉町(千曲市)	辰野町 大桑村 白馬村		御代田町 松川町	小布施町			8
10以上			旧本城村(筑北村)		川上村 旧望月町(佐久市) 下諏訪町 旧波田町(松本市) 旧三郷村(安曇野市) 松川村 坂城町 信濃町		旧信州新町(長野市)	小海町 南箕輪村 旧坂北村(筑北村)	旧安曇村(松本市)		14
10未満			旧奈川村(松本市) 旧八坂村(大町市) 旧豊野町(長野市) 小川村	旧和田村(長和町)	南牧村 旧真田町(上田市) 旧武石村(上田市) 原村 中川村 宮田村 阿南町 阿智村(合併前) 根羽村 下條村 栗木村 喬木村 旧南信濃村(飯田市) 上松町 麻績村 旧坂井村(筑北村) 小谷村 山ノ内町 野沢温泉村 旧牟礼村(飯綱町) 栗村	南相木村 北相木村 旧浅科村(佐久市) 旧長門町(長和町) 旧長谷村(伊那市) 旧清内路村(阿智村) 旧浪合村(阿智村) 平谷村 天龍村 泰阜村 大鹿村 旧上村(飯田市) 旧開田村(木曾町) 王滝村 旧四賀村(松本市) 旧美麻村(大町市) 旧鬼無里村(長野市) 旧中条村(長野市)	旧八千穂村(佐久穂町) 旧北御牧村(東御市) 青木村 旧高遠町(伊那市) 飯島町 木祖村 旧三岳村(木曾町) 旧明科町(安曇野市) 生坂村 朝日村 旧上山田町(千曲市) 高山村 木島平村 旧三水村(飯綱町) 旧戸隠村(長野市) 旧豊田村(中野市)	豊丘村 南木曾町 旧榎川村(塩尻市)		63	
合計		0	12	8	41	18	25	11	3	0	118

※旧大岡村(長野市)は前回調査(平成30年)データがないため表記なし

